

e-NEXI

2018年12月・2019年1月合併号

▶特集

2018年度お客様アンケート調査結果	1
パリ事務所からのご挨拶と当事務所の活動	6

▶カントリーレビュー

アルゼンチン・・・10月にIMF修正プログラムが承認～政府の当面の資金繰りに目処～	8
---	---

▶NEXI ニュース

豪外務貿易省(DFAT)及び豪輸出信用機関(Efic)とのMOU締結 ーインド太平洋地域におけるインフラ案件やグリーン成長案件を支援ー	11
--	----

イクシス LNG プロジェクト 操業開始記念式典への参加について ー本邦企業が初めてオペレーターを務める LNG プロジェクトの操業が開始ー	13
---	----

日本貿易保険(NEXI)によるアルゼンチン国立銀行(BNA)向け 輸出等用クレジットラインの設定の承認について	15
--	----

SINOSURE と二国間協議を開催しました	17
------------------------	----

発行元

発行・編集 株式会社日本貿易保険(NEXI)

企画室企画グループ

2018年度お客様アンケート調査結果

当社では2018年9月から10月にかけて貿易保険ご利用のお客様にアンケート調査を実施しましたので、調査結果のご報告をいたします。

お客様におかれましては多数のご意見及びご要望等をお寄せいただきまして厚く御礼申し上げます。

1. アンケート方法

調査会社に委託し、2018年4月～8月に貿易保険のご利用があった下記のお客様に対して、郵送、WEB又はメールによるアンケート調査を実施(無記名。一部の項目のみ任意記名式)。

- ① 引受実績上位200社
- ② 中堅中小企業100社

2. アンケート調査結果概要

主な項目のうち“総合評価”については「高く評価できる」と「ある程度評価できる」の合計が①は85.0%(前年度比8ポイント低下)、②は79.8%(②は今年度初めて実施)となりました。‘サービス全般’‘お客様対応’‘迅速な意思決定’‘手続き負担軽減’‘ホームページ総合評価’については、「高く評価できる」と「ある程度評価できる」の合計は、①は72.6%～89.2%でいずれも前年度比横ばい又は上昇、②は75.6%～88.4%でした。

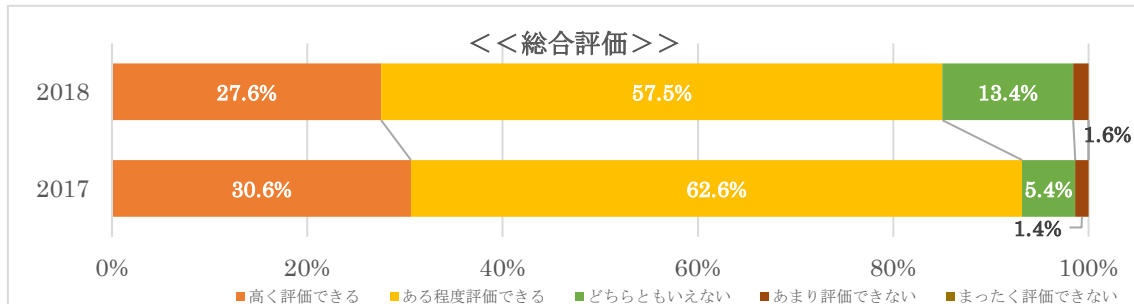
‘手続き負担軽減’と‘ホームページ総合評価’は相対的に満足度が低い結果となっており、また、自由回答欄には具体的なご意見等も多数頂きました。今後、これらも踏まえて、一層のサービス向上に努めてまいります。

当社ではご意見・ご要望をお寄せいただけるよう、お客様相談窓口(フリーダイヤル:(東京)0120-672-094又は(大阪)0120-649-818)やホームページの「お問い合わせ／ご意見・ご要望」を設置しております。

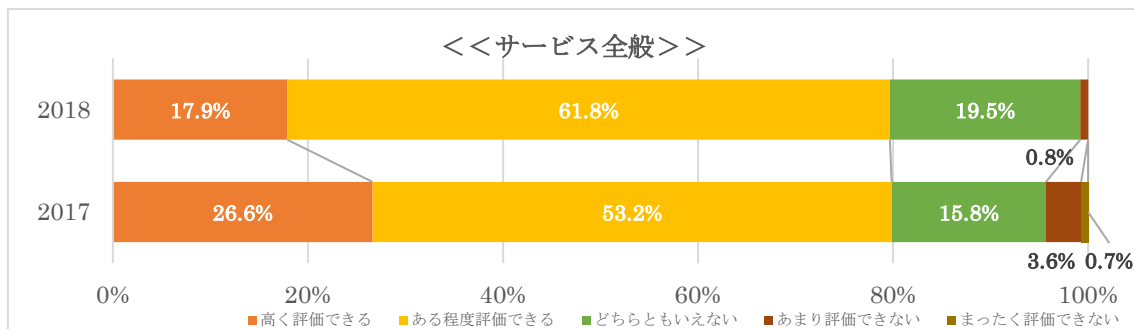
[主な項目の結果]

① 引受実績上位 200 社¹

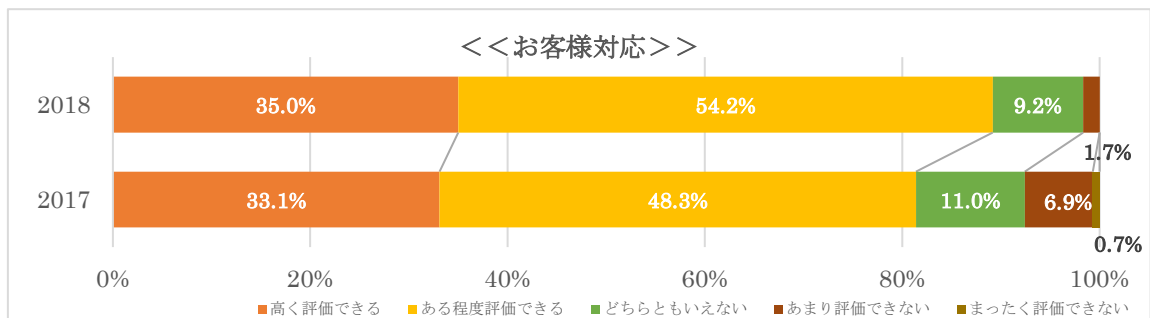
(設問)現在の NEXI の保険について、総合的にどのように評価されますか



(設問)NEXI はお客様のご意見や要望をお伺いし、サービス改善に反映する取組を行っていますが、どのように評価されますか。

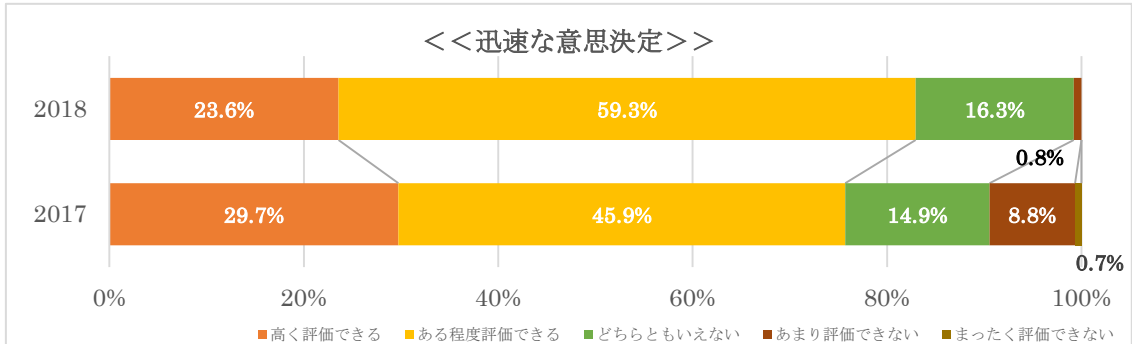


(設問)担当者のお客様対応について、どのように評価されますか。

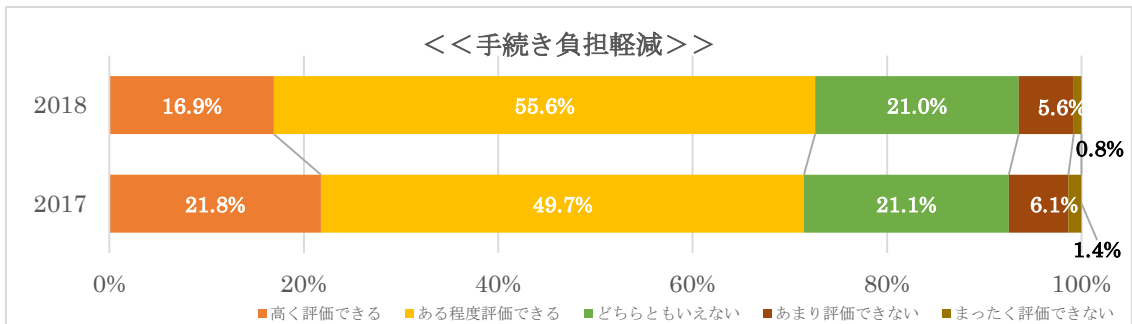


¹「わからない」を除いて集計。

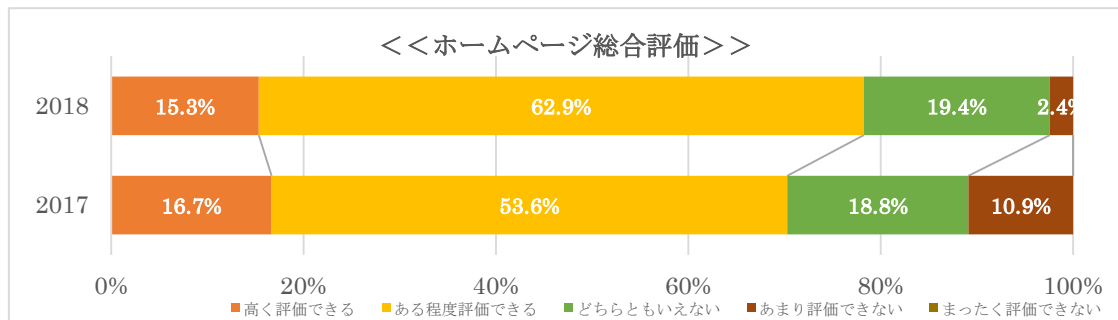
(設問)NEXIは迅速な意思決定・業務処理手順に取り組んでいますが、どのように評価されますか。



(設問)NEXIは手続き負担軽減に取り組んでいますが、どのように評価されますか。

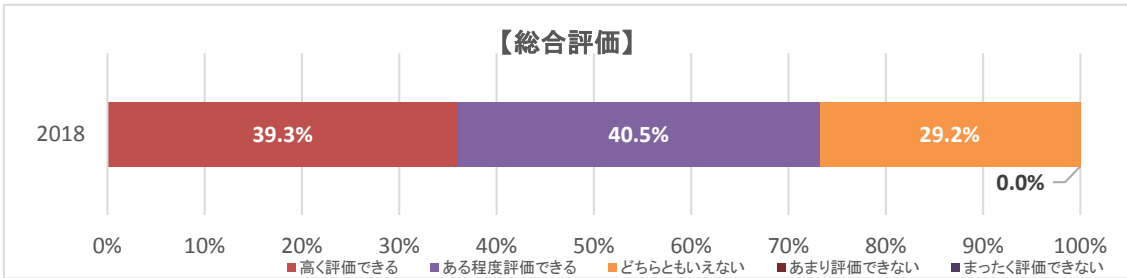


(設問)NEXIのホームページを総合的にどのように評価されますか。

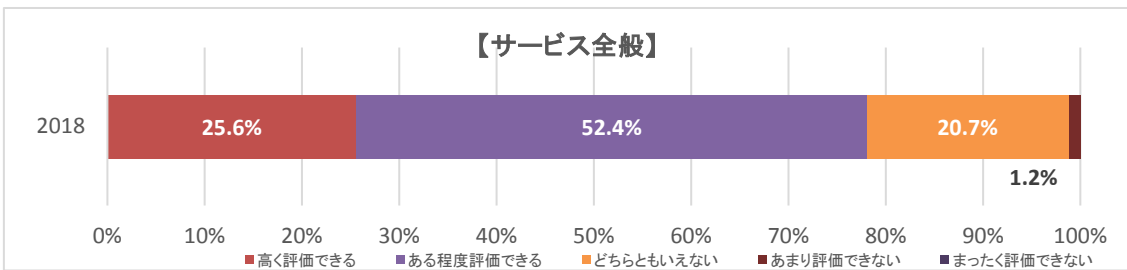


② 中堅中小企業 100 社²

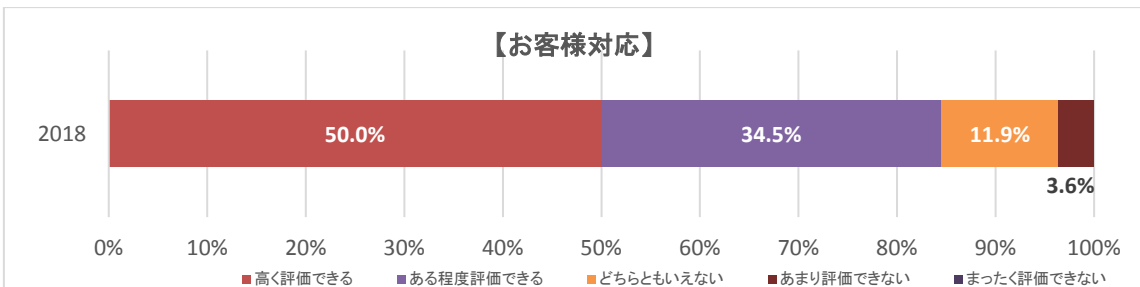
(設問)現在の NEXI の保険について、総合的にどのように評価されますか



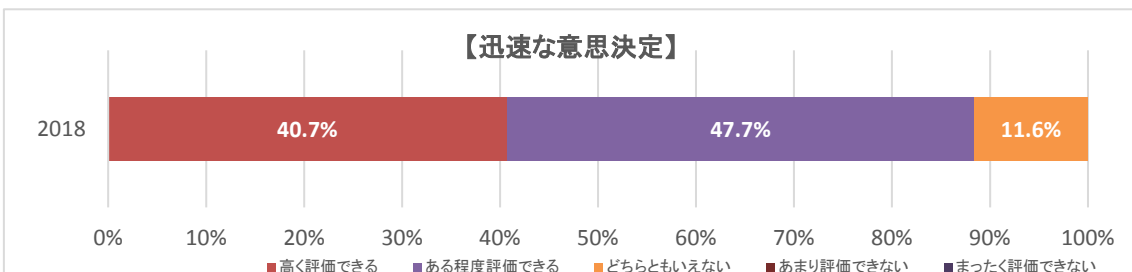
(設問)NEXI はお客様のご意見や要望をお伺いし、サービス改善に反映する取組を行っていますが、どのように評価されますか。



(設問)担当者のお客様対応について、どのように評価されますか。

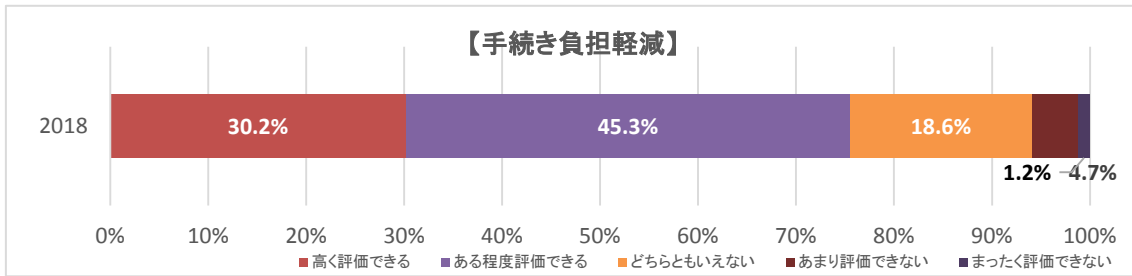


(設問)NEXI は迅速な意思決定・業務処理手続きに取り組んでいますが、どのように評価されますか。

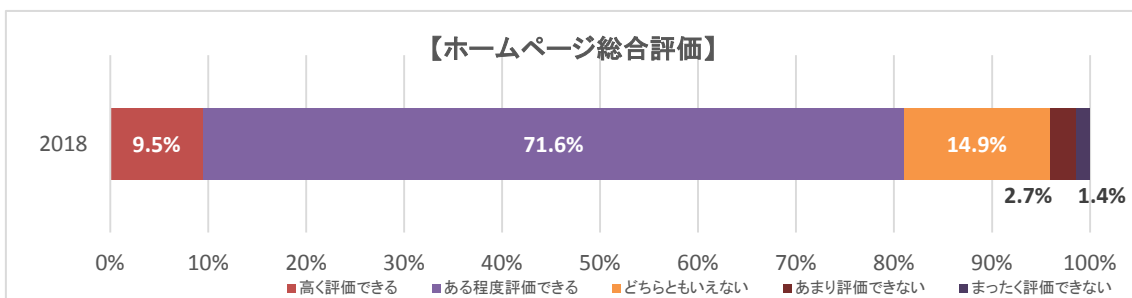


² 上位 200 社に含まれる中堅中小企業の回答も合わせて集計。「わからない」を除いて集計。

(設問)NEXIは手続負担軽減に取り組んでいますが、どのように評価されますか。



(設問)NEXIのホームページを総合的にどのように評価されますか。



パリ事務所からのご挨拶と当事務所の活動

パリ事務所長 河原 圭

NEXI パリ事務所は、3か所ある海外事務所(他にはニューヨーク及びシンガポール)の1つとして、欧州、ロシア・CIS 諸国、中東、アフリカ地域を担当しております。私は 2018 年 7 月に着任いたしました。駆け出しの状況ですが、これまでの半年弱の活動をご紹介しますことを通じて、皆様にパリ事務所の活動についてご関心を持っていただければ幸いです。

(1) OECD 等の国際会議への参加

一つ目の活動は国際会議への参加です。輸出信用に関する国際ルールを先進国間で議論する OECD 輸出信用部会、各国間で足並みを揃えて債権回収を行っていくパリクラブ、輸出信用保険に関する公的・私的機関が幅広く意見交換を行うベルンユニオンなどの国際会議が定期的開催されています。最近では、10 月にベルンユニオンの総会が、11 月に OECD 輸出信用部会とパリクラブ会合が開催されました。こうした国際会議に参加し、必要な発言や情報収集を行うことが、パリ事務所の役割の一つ目です。



ベルンユニオン総会(パリ)



OECD 輸出信用部会(パリ)

(2) 二国間貿易保険定期会合

当事務所の担当地域の中では、フランス、ドイツ及びオーストリアの3か国と定期的に二国間会合を開催し、双方が関心の高い主要論点について集中的に意見交換を行っています。

最近では、9 月にハイデルベルクにてドイツとの二国間会合が、12 月にコルマルにてフランスとの二国間会合が開催されました。2日間にわたって密度の濃いやり取りが行われました。

来年春頃には、オーストリアとの二国間会合が開催される予定です。



ドイツとの二国間会合(ハイデルベルク)

(3) 公的輸出信用機関等との意見交換

各国の公的輸出信用機関等との情報交換も役割の一つです。各機関のビジネストレンド、保険

商品の情報、主要国のカントリーリスク等についての情報交換のほか、NEXI・先方の両機関の連携強化に向けた方策等についてやり取りを行っています。例えば中東・アフリカ関係では、サウジアラビアのジェッダでイスラム開発銀行(IsDB)と、ケニアのナイロビでアフリカ貿易保険機関(ATI)等と意見交換を行いました。

こうしたやり取りを通じて、個別プロジェクトに対する協調サポートなど、具体的な成果につなげていければと考えています。



イスラム開発銀行とのミーティングを終えて(ジェッダ)



アフリカ貿易保険機関とのミーティングを終えて(ナイロビ)

(4) セミナー・カンファレンスへの参加

NEXI のことを広く知っていただくべく、セミナーやカンファレンスでプレゼンをさせて頂くこともあります。

こうしたカンファレンスは、企業、政府、公的輸出信用機関など幅広い関係者とのネットワークを作るチャンス。できる限り参加して NEXI のご紹介や必要な情報収集等を行うよう努めています。

カンファレンス会社が主催するもののほか、個別の企業・団体が主催するものにも参加しています。



カンファレンスへの参加(ドバイ)

(5) 企業の皆様との意見交換

そして何より大切にしているのが、企業の皆様とのやり取りです。個別プロジェクト、各国・地域の状況等について意見交換させて頂くとともに、必要に応じ本店関係者とも連携して、できる限りのサポートをさせて頂ければと考えています。

何かございましたら遠慮なくご連絡を頂ければ幸いです。皆様とやり取りさせていただくことを、そして少しでも皆様のお役に立てることを、パリ事務所一同、心から楽しみにしています。

《カントリーレビュー》

アルゼンチン... 10月にIMF修正プログラムが承認 ～政府の当面の資金繰りに目処～

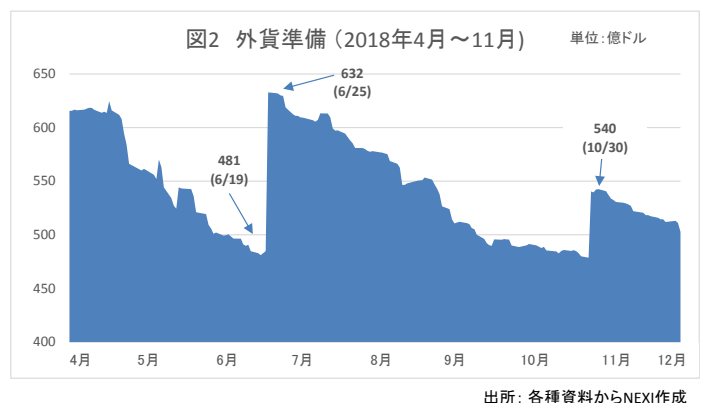
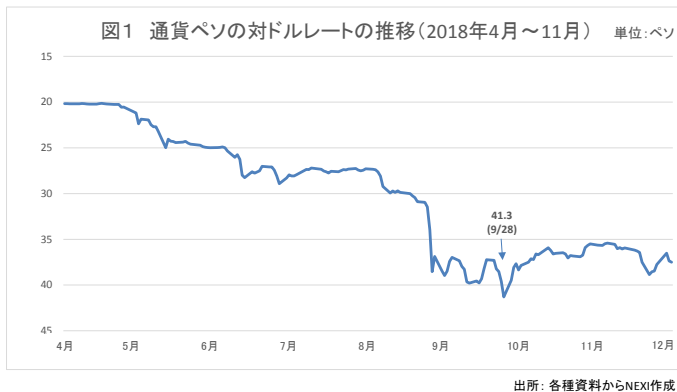
審査部カントリーリスクグループ 西尾 明美³

1. IMFへプログラムの修正を要請

(1) 金融市場の混乱が続く

アルゼンチン政府は財政赤字のファイナンスを行うため、国際金融市場から多くの借入を行っている。2018年4月下旬の米国の長期金利の上昇を契機に、通貨ペソは大幅に下落するなど市場の混乱が生じた。これにより、同国政府は海外からの資金調達が困難となり、IMFへ支援を要請し、6月に500億ドルのStand-By-Arrangement(期間3年)が締結された⁴

しかし、8月のトルコ・ショックの影響から、市場の混乱はさらに深まった。通貨ペソは8月1日の1ドル=27.5ペソから、8月10日には1ドル=29.2ペソに下落し、さらに、8月22日には1ドル=30.2ペソに達した(図1参照)。外貨準備高については、中央銀行の度重なる為替市場介入により、6月25日の632億ドルから、減少の一途をたどった(図2参照)



³ 本カントリーレビューの中の意見や考え方に関する部分は筆者個人としての見解を示すものであり、日本貿易保険(NEXI)としての公式見解を示すものではありません。なお、信頼できると判断した情報等に基づいて、作成されていますが、その正確性・確実性を保証するものではありません。

⁴ 当時の状況については、e-NEXI 2018年6月号の「アルゼンチン:通貨ペソ急落」参照。

https://www.nexi.go.jp/webmagazine/mt_file/e-nexi_2018_06.pdf

(2) IMFと再交渉

このような事態を受け、8月29日、マクリ大統領はIMFのラガルド専務理事と電話会議を行い、その後、国民に向けて「IMFへ支援プログラムの増額と融資前倒しを要請している」ことを発表した。この発言は市場への安心材料とはならず、むしろ「このままで行くと、アルゼンチン政府は、2018年または2019年に資金がショートし、デフォルトに至ってしまうのではないか」という市場の不安感を駆り立てる結果となってしまった。この発言後、通貨ペソは38.54ペソ/ドル(8月30日)へさらに下落し、外貨準備も496億ドル(9月7日)へ減少した。

市場混乱の沈静化に向けて、アルゼンチン政府はプログラム修正について、IMFと協議を急いだ。9月26日にIMFとの間で修正プログラムが暫定合意され、10月26日にはIMF理事会で正式承認された。

(3) 修正プログラムの特徴

修正プログラムのポイントは、(a)融資総額の増額(500億ドル→563億ドル)及び(b)融資前倒しが盛り込まれたことにある。前倒しに関しては、同国政府は、当初計画では2018年に60億ドル(初回融資実行の150億ドルを除く)を受け取ることができることとなっていたが、修正後は134億ドルへ増額された。2019年については、当初の114億ドルから228億ドルを利用できることとなった。

このプログラムを実施する条件として、政府は2019年のプライマリー財政収支をゼロとしなければならない(修正前のプログラム:2019年のプライマリー収支目標は対GDP比▲1.3%、2020年はゼロ。つまり1年前倒しでプライマリー収支均衡を実施することとなった)。そのために、同国政府は緊急財政調整策を導入した。具体的には、歳入面では全輸出品に対して輸出税を導入⁵し、歳出面では、公共事業の削減、電気料金及び公共交通利用料に対する補助金の削減、公務員の採用抑制などが実施されることとなった。

為替政策については、中銀はフロート制を維持することを確認し、大規模な為替市場への介入は行わないこととなった⁶。金融政策については、これまでのインフレーション・ターゲット・システムからマネタリー・ターゲット・システムへ変更した。具体的には、2019年6月までベースマネーの伸び率を一定にすることを決定した。

⁵ 同国政府は2020年までの暫定措置と説明。

⁶ 1ドル=33~44ペソのバンドを設定し、このバンドを超えた場合にのみ、中銀は市場介入を行う。介入額は1.5億ドル(1日当たり)に制限。

2. 政府の資金調達計画(2019年)

2019年の政府の資金必要額(財政赤字と元本返済額)と調達計画は、表のとおりである。2019年の資金必要額は総額688億ドルで、内訳は(a)金利返済が約169億ドル、(b)元本返済が約493億ドル、(c)IMFへの返済が約20億ドル、(d)その他が6億ドルとなっている。資金調達については、既存債務のロールオーバーが大きな割合を占めている。公的セクターのロールオーバーに関しては、政府との関連が強いことからロールオーバーに懸念はないと見られる。民間セクターについては、IMFはロールオーバー率を50%と想定している。これは、8月の市場混乱時のロールオーバー率を参考にしており、比較的保守的な想定と考えられる。なお、金融市場からの新規調達はゼロと計画している。必要額との差額が262億ドルとなるが、これはIMFからの融資額でファイナンスされる予定である⁷。このとおり、概ね2019年の政府の資金繰りに目処がたった⁸。

表 政府の資金必要額と調達先 単位:百万ドル

	2019年
1. 資金必要額(合計)	68,841
(1) 財政収支	
① プライマリー収支(赤字)	0
② 金利	16,901
(2) 元本返済額	49,311
(3) IMFへの返済	2,029
(4) その他	600
2. 調達先(合計)	42,632
(1) 国際金融機関	3,000
(2) 公的セクター(既存の借入のロールオーバー)	20,326
(3) 民間セクター(既存の借入のロールオーバー)	17,306
(4) 市場からの調達	0
(5) その他	2,000
3. 差額(1. - 2.)	26,208
4. IMF融資実行額	22,820
(参考) 外貨準備高の見通し	53,500

(出所: IMF 2018年10月レポート)

3. 修正プログラムを確実に実施できるかが鍵

IMFのプログラムを確実に実施できれば、アルゼンチン政府はIMFから必要な資金を借入ことができ、上記表の資金繰りに支障は生じないと見られる。しかし、来年10月には大統領選挙が予定されている。ここで国民の不満を抑えて、緊縮財政を実施できるか(プライマリー財政収支目標のゼロを達成できるか)が鍵となってくる。融資条件に対するIMFのレビューは3ヶ月毎に行われる予定であり(2019年3月、6月、9月、12月)、もし目標に達していない場合にはレビューが大幅に遅れることが見込まれる。その際には、マーケットはIMFプログラムの継続に懸念を持ち、市場が再び混乱する恐れがある。また、大統領選挙でもIMF重視派が敗れることがあれば、IMFとの関係が不透明になり、同国経済は一層深刻な事態になる恐れがある。今後のIMFプログラムの進展に注視していきたい。

(12月11日記)

⁷ 34億ドルが不足となるが、外貨準備は535億ドルあるので、これで十分カバーできる。

⁸ 詳細については、IMFのレポート(2018年10月)を参照のこと。

<https://www.imf.org/en/Publications/CR/Issues/2018/10/26/Argentina-First-Review-under-the-Stand-By-Arrangement-Inflation-Consultation-Financing-46309>

豪外務貿易省 (DFAT) 及び豪輸出信用機関 (Efic) との MOU 締結 ーインド太平洋地域におけるインフラ案件やグリーン成長案件を支援ー

11月16日、オーストラリア外務貿易省 (Australian's Department of Foreign Affairs and Trade、以下 DFAT) とオーストラリアの輸出信用機関 (The Export Finance and Insurance Corporation、以下 Efic) との間で協力覚書 (MOU: Memorandum of Understanding on Cooperation) を締結し、文書交換式を行いました。



文書交換式の様子

(日本側: 中央から) 安倍首相、世耕経済産業大臣、NEXI 岡田常務

(豪側: 中央から) モリソン首相、パーミング貿易観光投資大臣、DFAT アダムソン次官

出典: 首相官邸ホームページ (https://www.kantei.go.jp/jp/98_abe/actions/201811/16australia1.html) より

1. 本 MOU の目的について

今般の MOU の狙いは、特にアジアを中心に一層高まることが予想されている世界のインフラ需要に対して、質の高いインフラ輸出の考えに沿うプロジェクトや環境保全と経済成長を両立させるプロジェクトの組成に向け、DFAT 及び Efic と NEXI が連携する枠組みを構築することにあります。

2. オーストラリア輸出信用機関 Efic について

Efic は 1991 年に設立されたオーストラリアの輸出信用機関です。本社はシドニーにあり、全体で約 100 名のスタッフが働いています。Efic は貿易保険の他、融資や保証等の支援メニューも提供しています。2017 年度の年次報告書 (Efic annual report 2017-2018) は、160 の豪企業に関わるビジネスに対して、194 百万豪ドルのファシリティを組成し、合計で 1.39 十億豪ドル相当の輸出取引

を支援したと報告しています。

【表 1 Efic の概要⁹⁾】

名称	The Export Finance and Insurance Corporation(Efic)
本社所在地	オーストラリア／シドニー
設立	1991年
法的基礎	Efic Act
所管省庁	DFAT
従業員数	約 100 名
支援メニュー	融資、保証、貿易保険

Efic に関する最近のトピックでは、本年 11 月 8 日にモリソン首相が、太平洋地域においてオーストラリアに裨益するインフラ案件を支援することを目的に、Efic へ十億豪ドルの増資を表明しました¹⁰⁾。この増資により、Efic の融資機能が強化され、これまで以上に柔軟なファイナンスが提供されるようになることが予想されます。

NEXI との連携では、2005 年に再保険協定を締結したほか、パプアニューギニアでの LNG プロジェクトやイクシス LNG プロジェクトを協調して支援してまいりました。

今般の MOU には、インド太平洋地域において日豪企業が協働するインフラ案件やグリーン成長案件に対する支援について、DFAT を含めた三者間での協議を実施していくといった内容も含まれており、今後も更なる連携強化が期待されています。

3. おわりに

本 MOU のような協力枠組みを通じて、日豪両国の政府機関がアジア・太平洋州の旺盛なインフラ需要に対する支援を行うことは、インド太平洋地域の安定と発展に大きく貢献し、国際社会の平和と安定及び繁栄の確保を目指すとの日豪両国政府の方針に沿った取組となります。

NEXI は今後とも、他国・地域の政府、関係金融機関との連携を深めることにより、本邦企業の海外における事業展開を積極的に支援してまいります。

⁹⁾ Efic annual report(2017-2018)及び Efic corporate plan(2018-2019)を参考に作成。

いずれも Efic の HP より閲覧可能(<https://www.efic.gov.au/>)。

¹⁰⁾ Strengthening Australia's commitment to the pacific より
(https://foreignminister.gov.au/releases/Pages/2018/mp_mr_181108.aspx)

イクシス LNG プロジェクト 操業開始記念式典への参加について
— 本邦企業が初めてオペレーターを務める LNG プロジェクトの操業が開始 —

11月16日に、安倍首相、モリソン首相をはじめ、世耕経済産業大臣、キャバナン資源担当大臣等を来賓に、LNG 購入企業、金融機関、パートナー企業、地域関係者、両国政府関係者等が参列した「イクシス LNG プロジェクト 操業開始記念式典」が、オーストラリアのダーウィンにて開催されました。弊社からは岡田常務取締役以下が参加をしました。



イクシス LNG プロジェクト 操業記念式典の様子

左から: INPEX 北村会長、ガナー北部準州首相、モリソン首相、安倍首相

出典: 首相官邸ホームページ(https://www.kantei.go.jp/jp/98_abe/actions/201811/16australia1.html)

本プロジェクトは、西豪州沖合約 200km に位置するイクシス・ガスコンデンセート田を新規開発、沖合生産・処理施設を建設、890km の海底パイプラインで陸上のダーウィンまで運び、そこでガス液化基地を建設、LNG 輸出を行うプロジェクトで、年間 890 万トンの LNG 等を生産、海外に輸出する案件です。輸出される LNG のうち、約 7 割が日本向けに供給される予定となっております。

また、本プロジェクトは、国際石油開発帝石株式会社 (INPEX) が、本邦企業として初めて最大株主となって主体的に事業を進める大規模な LNG プロジェクトで、計画、建設および操業において操業主体 (オペレーター) を務めます。

NEXIは、プロジェクト会社である Ichthys LNG Pty Ltd がプロジェクトファイナンスにより調達する 200 億米ドルのうち、民間金融機関からの貸付に対する支援(27.5 億米ドル)を行っており、これは NEXI にとって、過去最高の引受保険価額となっています。

本プロジェクトでは 2018 年 7 月に生産井からのガス生産が開始され、10 月には本プロジェクトから初出荷された LNG を輸送する LNG 船が、新潟県の直江津 LNG 基地に入港しています。

NEXI は、今後も我が国への資源の安定的な供給に資するプロジェクトについて、積極的に支援をまいります。

日本貿易保険(NEXI)によるアルゼンチン国立銀行(BNA)向け

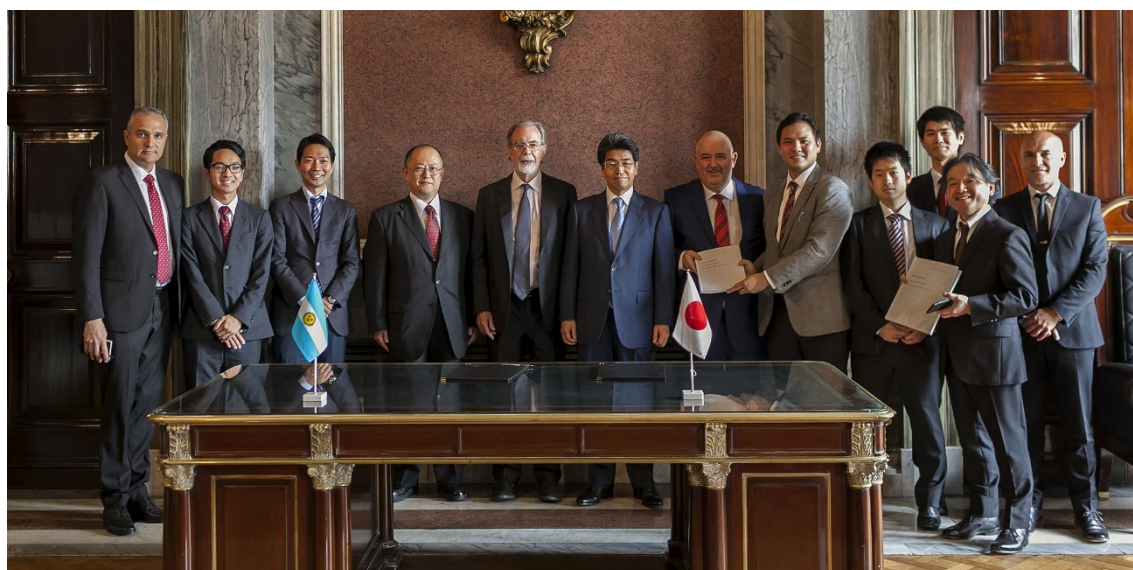
輸出等用クレジットラインの設定の承認について

NEXIは、アルゼンチン国立銀行(Banco de la Nación Argentina、以下「BNA」)に対する輸出等用クレジットラインの設定を承認致しました。本稿では、その意義や当日のイベントの様子をご紹介します。

クレジットラインの設定

2018年11月29日に、アルゼンチン共和国(以下、「アルゼンチン」)のブエノスアイレスにて開催されるG20サミット(11月30日及び12月1日開催)に合わせて、NEXIは、株式会社国際協力銀行(JBIC)とBNAとの間で設定された輸出クレジットライン(限度額:60百万米ドル)のうち、民間銀行による融資部分(限度額:24百万米ドル)に対する承認を実施し、本クレジットラインに関するLetter AgreementをBNAとの間で締結致しました。

BNAは、アルゼンチン政府が100%出資する国立銀行であり、政府の産業振興政策に沿った産業融資(農業部門及び中小企業向け融資等)を主たる業務として実施し、同国最大の預金及び貸出残高を有しております。



(写真: BNA 撮影)

クレジットラインの概要

本クレジットラインは、本邦企業又は本邦企業が出資する海外関連会社等から製品・サービスを購入するアルゼンチン企業に対し、BNAを通じてファイナンスを提供することにより、日本企業によるアルゼンチンへの輸出及び投資促進を企図しています。なお、本邦企業の輸出のみなら

ず、本邦企業が出資する海外関連会社等による製品・サービスも対象としたクレジットラインの設定は、NEXI にとって本件が初めてとなります。

日・アルゼンチン外交関係樹立120周年閉幕式

2018 年は日本とアルゼンチンの修好 120 周年にあたることから、12 月 1 日の G20 サミット終了後にブエノスアイレス市内のキルチネル文化センターにて、日・アルゼンチン外交関係樹立 120 周年閉幕式が開催されました。当該式典では、マクリ大統領及び安倍総理大臣によるスピーチが行われた後、アルゼンチンタンゴと日本舞踊を融合したパフォーマンスが開催される等、終始賑やかな雰囲気となりました。本クレジットラインは、安倍総理大臣のスピーチにて、アルゼンチンのインフラ整備への貢献の一例として、言及されております。



(出典: 首相官邸ホームページ)

https://www.kantei.go.jp/jp/98_abe/actions/201812/01summit.html より)

NEXI は、今後とも、日本の輸出信用機関として、本邦企業及び海外関連会社等によるアルゼンチン向けビジネスの拡大を支援してまいります。

以上

SINOSURE と二国間協議を開催しました

11月28日～29日、東京にて中国の公的輸出機関であるSINOSUREと二国間協議を開催いたしました。本年10月26日、日中第三国市場協力フォーラムが開催されたのにあわせて締結した協力覚書¹において、NEXIとSINOSUREの協力を推進するための協議の場として二者間で年次の会議を開催することで合意しておりましたが、この合意に基づき開催された第1回目の会議です。

SINOSURE側からは郭新双取締役兼副社長以下6名が、NEXI側は仲田副社長及び岡田常務以下関係部署の役職員が参加しました。役員含めて参加した全体会合では、最近の業務状況について情報共有を行った他、公的輸出信用機関に求められるコーポレートガバナンスやリスク管理の在り方や強化・向上のための取組の状況、中小企業支援に対する取組について意見交換を行いました。

また、実務家レベルの個別会合では、融資保険の引受検討に際して留意すべき事項、具体的にはプロジェクトファイナンス案件における主要なリスクの分析方法や環境社会配慮面の審査等について主にNEXIから取組を説明する一方、再保険分野の取組、特にリスクエクスポージャー軽減のための出再業務についてSINOSUREの取組を聴取しました。

今後とも、日中二国間の貿易投資や日中両国企業が参画する第三国でのプロジェクトを効果的に支援できるよう、両機関の連携を進めてまいります。

¹ 協力覚書については以下参照ください。

日本貿易保険(NEXI)と中国輸出信用保険公司(SINOSURE)との協力のための覚書締結について
<https://www.nexi.go.jp/topics/newsrelease/2018102503.html>